

iTS-3D

(布帛のラテックスインクIJP用後処理剤)

【特徴・用途】

- ・熱架橋させることにより、繊維表面を改質するハイブリッド設計。
- ・出力後、後処理・熱処理を施すことにより、より緻密な分子構造を作ることで、摩擦堅牢度等の改善が見込まれます。
- ・出力物の色合いがより鮮明度が増す効果が得られます。

【性状】

外観	乳白色液状
pH	6 ~ 8
イオン性	アニオン

【配合例】

原液タイプ

【工程】

出力 → パッド → 絞り → 乾燥 → 熱処理

* 熱処理は150°C × 1分が目安となります。

【スプレー容器使用の場合】

・使用方法(ブロードの場合)

- ①生地から5cm程度離れた位置よりプッシュ。
- ②全体にスプレーする。生地に乾いた箇所がなくなるくらい。
(10cm × 10cmの布で、10プッシュ以上)
- ③乾燥させる。
- ④熱処理機(170°C × 1分)

又は、アイロン(高 × 2~3分程度)がけ

※目安

ピックアップ率 = 約1

(10プッシュ = 約2g)

※スプレー回数は、生地により変えてください。

ここに記載された事項は、すべて研究室のデータに基づくものですので、各工場での現場加工条件に合わせて、充分テストを行なってから使用してください。